

TOHO KINZOKU

PROFILE



東方金属株式会社

本社

〒737-0134 広島県呉市広多賀谷3丁目3番4号
TEL (0823) 71-9999 FAX (0823) 71-1213

製鉄原料部・海田工場

〒736-0055 広島県安芸郡海田町南明神町3番25号
TEL (082) 821-0111 FAX (082) 821-0113

製鉄原料部・小屋浦工場

〒731-4331 広島県安芸郡坂町小屋浦1丁目1番8号
TEL (082) 886-8111 FAX (082) 886-8113

鋼材部・虹村工場

〒737-0134 広島県呉市広多賀谷3丁目3番4号
TEL (0823) 71-1100 FAX (0823) 71-1102

技術部

〒737-0027 広島県呉市昭和町1-1番1号
(日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区構内)
TEL (0823) 21-4205 FAX (0823) 21-1110

スラグ部・松山支店

〒791-8057 愛媛県松山市大可賀3丁目1-4番3番2
TEL (089) 952-5220 FAX (089) 952-5750

スラグ部・広島営業所

〒737-0134 広島県呉市広多賀谷3丁目3番4号
TEL (0823) 55-7790

大平鉄工(株) (関連子会社)

〒721-0962 広島県福山市東手城町3丁目28番16号
TEL (084) 941-2729 FAX (084) 941-9773

<https://www.toho-kinzoku.co.jp>



東方金属株式会社

地域と共に生きて

1948年 終戦間もない広島県呉市に鉄鋼専門企業として創業した当社は、日亜製鋼株式会社の呉海軍工廠跡地への進出計画に参画し、東方金属株式会社を設立。1959年 日亜製鋼㈱と日本鉄板㈱が合併し、日新製鋼株式会社（※1）として発足するに伴い、鉄くず・鋼材直納問屋及び呉工場協力指定業者となり、以来呉製鉄所の繁栄と共に歳月を重ね、地域に確たる地歩を固めるに至りました。

鉄スクラップ取扱から始まった当社の事業は、製鉄所構内作業、鋼材販売、環境・リサイクルと、業界や時代の要請に呼応する形で拡大し、併行して社員が安心して働ける企業、高い専門性を発揮できる職場環境醸成を目的として参りました。更に日本製鉄株式会社の呉地区からの完全撤退を受けて、今まで製鉄所内で培ってきた技術やノウハウ等をベースにした新たな活動を開始しています。

企業の社会的責任は当然、創業以来の明るく楽観的、積極果敢の気風で、当社に関わる全てのお取引先様、お一人お一人に期待を超えた驚きや感動、新しいインスピレーションをお届けする事こそが、東方金属の使命です。これからもご指導を賜りながら更なる飛躍を遂げたいと考えております。



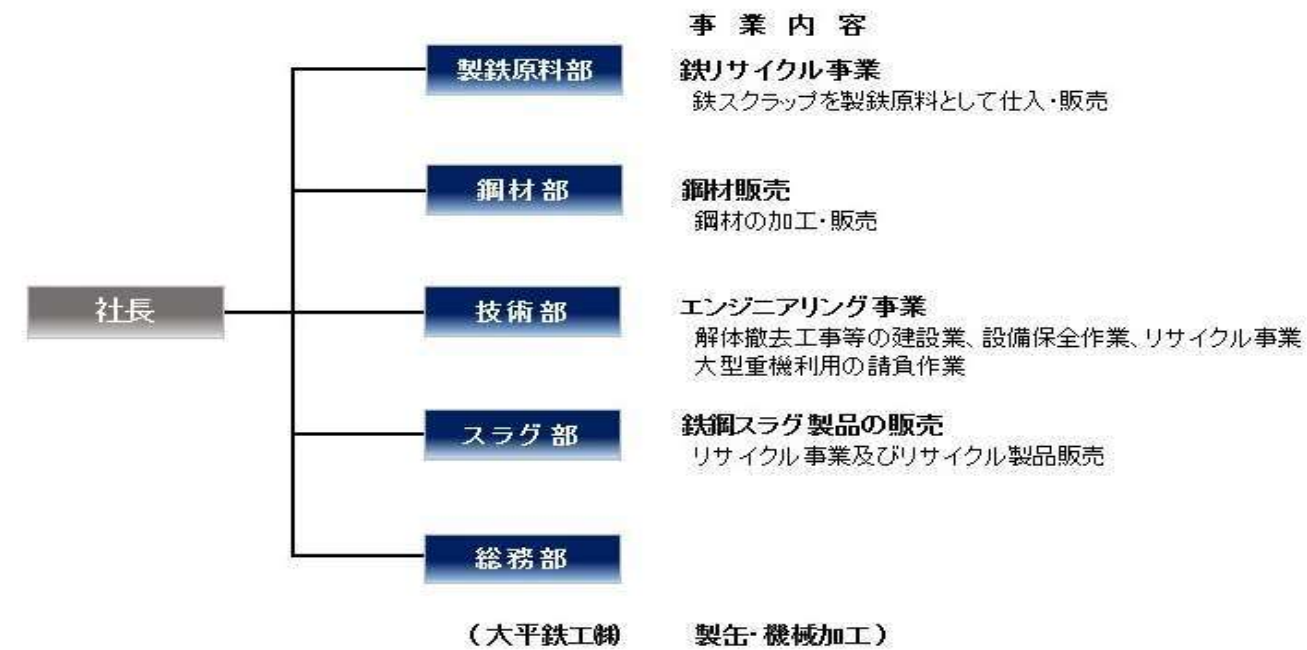
代表取締役社長
仁井岡 武十郎

■ 経営理念

当社はグローバルな視点に立ち
金属加工やリサイクル技術により
顧客への貢献と地域の発展に
寄与することを経営理念とする

■ 組織体制

東方金属株式会社 組織図（2025年5月1日現在）



事業内容

鉄リサイクル事業

鉄スクラップを製鉄原料として仕入・販売

鋼材販売

鋼材の加工・販売

エンジニアリング事業

解体撤去工事等の建設業、設備保全作業、リサイクル事業
大型重機利用の請負作業

鉄鋼スラグ製品の販売

リサイクル事業及びリサイクル製品販売

沿革

1948年(昭和23年)	4月	広島県呉市にあった旧海軍工廠及び周辺の兵器機械及び鉄骨建屋の解体、鉄スクラップの販売等、土木・運搬の請負を目的として創業。
	10月	兵庫県尼崎市の日亜製鋼㈱(現日新製鋼㈱)の原料直納代行店となる。
1950年(昭和25年)	2月	日亜製鋼㈱の海軍工廠跡地への進出計画に参画し東方金属株式会社を設立。G.H.Q並びに関係官庁への折衝及び呉工場建設に協力。
1954年(昭和29年)	1月	日亜製鋼㈱呉工場の鋼材及び発生品の指定問屋となり、中国・四国・九州地区への販売開始。
1959年(昭和34年)	4月	日亜製鋼㈱と日本鉄板㈱が合併し、日新製鋼㈱(※1)として発足するに伴い、鉄くず・鋼材直納問屋及び呉工場協力指定業者となる。
1962年(昭和37年)	6月	日新製鋼呉製鉄所1号高炉の高炉スラグの処理及びスラグによる埋立て工事を開始。
1963年(昭和38年)	4月	呉市中通の本社工場に鋼板剪断機を導入し、中薄鋼板の剪断作業を開始。
1965年(昭和40年)	4月	安芸郡坂町に鉄スクラップのプレス工場を建設し操業を開始。
1969年(昭和44年)	10月	鉄スクラップ加工部門、鋼材剪断部門をそれぞれ独立させ、東方プレス工業㈱、東方シャーリング工業㈱を設立。
1972年(昭和47年)	5月	寿工業㈱(現㈱広島メタル&マシナリー)の電気炉増設に伴い、鉄スクラップ指定納入問屋に指定され納入を開始。
1975年(昭和50年)	1月	呉市より鉾さい・建設廃材の収集運搬に関する産業廃棄物処理業の許可を取得。
1977年(昭和52年)	5月	日新製鋼呉製鉄所高炉スラグ処理プラントにおいてスラグ製品製造を開始し、また同時に製造したスラグ製品の販売を開始。
1980年(昭和55年)	4月	四国地区への高炉スラグ碎石の販売促進のため松山スラグ普及所を設置。松山市大可賀に松山骨材センターを開設。
1982年(昭和57年)	1月	呉市虹村工業団地にシャーリング工場を新設、操業を開始。
	10月	四国地区業容拡大により松山スラグ普及所を廃止し、松山市清水町に松山支店を開設。
1984年(昭和59年)	10月	松山支店を清水町から松山市堀江町に移転。
1986年(昭和61年)	1月	四国地区におけるスラグ販売部門・土木工事部門を独立させ、東武開発㈱を設立。
1988年(昭和63年)	12月	東方商事㈱を設立し、「霊芝ウーロン茶」の製造販売を開始。
1989年(平成元年)	12月	東方金属㈱新居浜支店を設立し、新居浜市と磯浦埠頭荷捌場の借地契約を締結。
1990年(平成2年)	3月	スラグ製品のエージング処理を目的に、住友金属鉾山㈱と土地賃借契約を締結し磯浦ヤードを開設。
1991年(平成3年)	6月	一般建設業に関し、広島県知事の認可を取得。
1992年(平成4年)	5月	東武開発㈱が愛媛県西条市に産業廃棄物中間処理施設、西条ニューバラスセンターを開設。
1993年(平成5年)	7月	日新製鋼㈱呉製鉄所内に製鋼地金設備を新設し、営業運転を開始。
1994年(平成6年)	10月	日新製鋼㈱呉製鉄所内にスラグ蒸気エージング設備を新設し、営業運転を開始。
1998年(平成10年)	5月	東武開発㈱が愛媛県松山市に産業廃棄物中間処理施設、松山ニューバラスセンターを開設。
	8月	日新製鋼㈱から譲渡された高炉スラグ処理プラントの老朽対策及び能力増強工事を実施し、転炉スラグ処理も同時に行う新スラグ処理設備の営業運転を開始。
1999年(平成11年)	2月	日新製鋼㈱呉製鉄所内に鉄鋼スラグ「地金精製設備」を新設し営業生産を開始。
2000年(平成12年)	9月	日新製鋼㈱呉製鉄所より1製鋼及び2製鋼混銑炉作業の外注移管を受ける。
2002年(平成14年)	4月	日新製鋼㈱呉製鉄所より分塊均熱炉作業の外注移管を受ける。
2007年(平成19年)	7月	特定労働者派遣事業を開始。
	10月	東武開発㈱の事業を承継し、四国地区における鉄鋼スラグ製品の販売業務及び産業廃棄物処理業を開始。
	12月	松山市大可賀に外港製品ヤードを開設、営業を開始。
2008年(平成20年)	3月	松山支店を堀江町から松山市大可賀に移転。
2014年(平成26年)	5月	安芸郡海田町にスクラップ工場を新設、操業を開始。
2015年(平成27年)	5月	M&Aにより大平鉄工㈱(広島県福山市)をグループ会社を迎える。
2018年(平成30年)	3月	呉市広多賀谷に建設した新社屋に呉市中通から本社を移転。同時に鋼材部も新社屋に移り、業務を開始。
2018年(平成30年)	11月	広島県安芸郡海田町西明神町7の海田第5荷捌地の賃借を開始し、備船によるスクラップの出荷を開始する。
	12月	広島県呉市広多賀谷の鋼材部倉庫を増設。
2020年(令和2年)	4月	日新製鋼㈱は日本製鉄㈱と合併し、日新製鋼呉製鉄所は日本製鉄瀬戸内製鉄所呉地区と名称が変更される。それに伴い、日本製鉄㈱の協力会社となる。
2021年(令和3年)	12月	日本製鉄瀬戸内製鉄所呉地区鉄源工程休止(9月)を受け製鉄事業部解散。
2022年(令和4年)	1月	日本製鉄瀬戸内製鉄所呉地区内に技術部発足。
	7月	広島県安芸郡海田町西明神町7の海田第5野積場をスクラップ滞貨場「第2ヤード」として賃借を開始。

※1 日新製鋼㈱は2020年(令和2年)4月1日に日本製鉄と合併し、日新製鋼呉製鉄所は日本製鉄 瀬戸内製鉄所呉地区と改名

製鉄原料部 (鉄リサイクル事業)

製鉄原料部は、昭和40年に小屋浦工場を建設、そして平成26年5月には海田に新工場を建設し、また平成30年11月からは同じ海田の公共バースからも出荷できるようになり、取扱量を大幅に増やして業容の拡大を図ってきました。鉄は他のあらゆる素材の中でもっともリサイクル性に優れており、その90%以上が回収され新たな鉄製品として生まれ変わります。製鉄原料部では鉄スクラップを回収し、それらを選別、加工して主に製鉄所に販売しております。

限りある資源をいかに有効活用するかが、環境負荷を軽減し、資源循環型社会を構築するための命題となっている今、鉄リサイクルという分野は社会的に重要な位置を占めていると言えます。

また、鉄スクラップ分別の際に発生する廃プラスチックやがれき類等を切断分別し、契約工場と連携を取り、再資源化への取り組みを令和3年より始めました。



小屋浦工場



海田工場



海田岸壁

取り扱う鉄屑、非鉄金属

HS屑、新断屑、ダライ粉、銅屑、アルミサッシ、ステンレス、真鍮等を取り扱っております。



HS屑



新断屑



ダライ粉



銅屑



アルミサッシ



ステンレス



真鍮

主な納入先

日本製鉄株式会社

日鉄ステンレス株式会社

株式会社広島メタル&マシナリー

東京製鉄株式会社

主な業務

鉄スクラップの卸売業

主な設備と能力

■ 切断機

- ・フジ・マウントシャー
(HWSS・2000-1250N)
- ・せん断シリンダ能力(最大) 1250T
- ・刃物開口寸法(幅×高)
2000×700(最小)~910(最大)mm

機械・電機・車輛・造船その他工場等で発生したスクラップを回収し、切断する設備です。



■ ラバウンティ シャー

- ・重機部 :コベルコSK350DLC
- ・シャー部:MSD2500R

本来ならガス切断の必要なスクラップ処理も火気を使用せず切断処理を行うことを可能にする設備です。



東方金属と鉄スクラップの流通ルート

製品メーカーにて製品化、販売

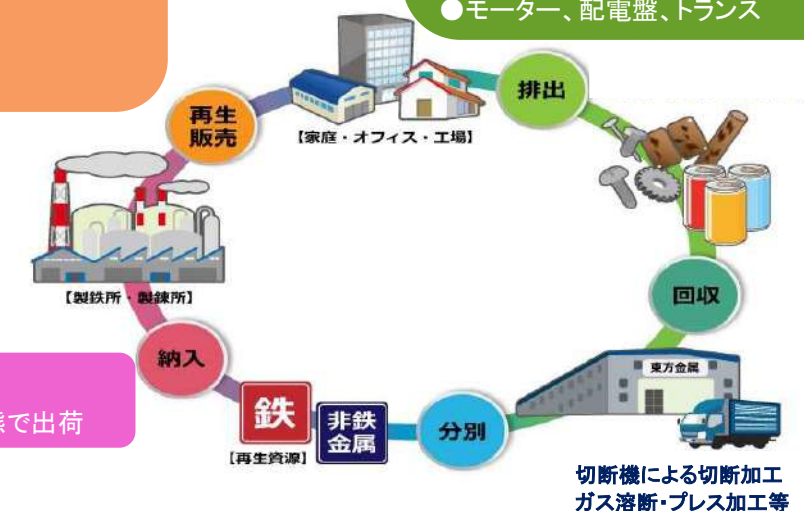
- 建設用鋼材、鉄板
- 自動車部品
- スチール缶、アルミ缶
- トタン板、ネットフェンス
- アルミサッシ、アルミホイール
- ステンレス製品、ケーブル

市中発生金属・非鉄屑

- 工場発生屑、解体屑、構造物
- オフィス、病院、学校等から発生する屑
- スチール缶、アルミ缶
- トタン板、ネットフェンス、ワイヤー
- アルミサッシ、銅屑、ステンレス屑、ケーブル、真鍮
- モーター、配電盤、トランス

製鋼メーカー

- コイル、鋼材、半製品状態で出荷



許可一覧

【収集運搬及び中間処理 許可番号】

広島県	収集運搬	03409006312
	中間処理[切断]	03424006312

再資源化への取り組み

再生

自然と産業と人間環境の調和を目指し資源循環型社会の構築に取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



鋼材部 (鋼材販売)

鋼材部は広島県内を中心に鋼材販売を行っております。幅広い品種の鋼板を在庫し、定尺販売やシャーリング・曲げなど様々な加工も行っております。

また取引先のネットワークを活用し、多様な材料手配からレーザーやガス切断をはじめ、2次・3次加工製品などお客様のニーズに合った対応や、自社トラックによるスピーディーな配達も可能です。

さらに関係会社である大平鉄工(株)との連携により、大型から小型までの製缶・機械加工品の精密な制作も対応可能となりました。

主な業務

1. 鋼板定尺の在庫販売・加工
2. 各種鋼材の流通・加工
3. 非鉄(ステンレス・アルミ)取り扱い



虹村工場

在庫概要

熱延鋼板 (SPHC SS400)		一般加工プレス向けです。機械内部の部品などに使用されることが多く、SS400は強度が高く建築に使用されます。
酸洗鋼板 (SPHC-P)		一般加工プレス向けです。熱延鋼板の材を酸で洗い黒皮被膜を除去したもので、塗装して使うのが前提です。
冷延鋼板 (SPCC)		熱延鋼板をさらに冷間圧延したもので、板厚制度が高く、精密部品などの高精度を要求される部材で多く使用されます。
電気亜鉛メッキ鋼板 (SECC SEHC)		熱延、冷延鋼板の表面に電気メッキによって亜鉛メッキした鋼板で、精度と耐蝕性に優れているのが特徴です。
溶融亜鉛メッキ鋼板 (SGHC SGCC)		亜鉛鋼と呼ばれ、様々な種類や仕様があります。耐蝕性に優れ、塗装なしでも使用可能です。
ZAM (高耐蝕性溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金メッキ鋼板)		亜鉛・アルミニウム6%・マグネシウム3%のメッキ層を持ち、耐蝕性が溶融亜鉛メッキ鋼板に比べ10~20倍優れております。

※ 鋼板に関しては、幅広く在庫しております。

詳細な在庫状況につきましては、TELまたはFAXにてお問い合わせ下さい。

【鋼材部直通】 TEL:0823-71-1110 FAX:0823-71-1102

主な設備・車両

■天井走行クレーン
5t／1台 2.8t／1台

■機械

- アマダ シャーリング DCT3065
- アマダ シャーリング DCT2565
- アマダ シャーリング DCT2065
- アマダ シャーリング M-1245
- アマダ セットプレス SP30 II SS101IV
- コマツ プレスブレーキ PHS110X255
- コマツ プレスブレーキ PVS2253-2

■トラック
4t／2台 3t／1台 2t／2台



虹村工場内



アマダ シャーリング DCT3065



コマツ プレスブレーキ PVS2253-2

鋼材加工の例

弊社でのシャーリングや曲げの加工品です。
量産を得意としておりますが、小ロットや短納期も対応可能です。



主な取引先

POSCO Japan PC株式会社 エムエム建材株式会社 阪和興業株式会社 株式会社門倉剪断工業
兼松トレーディング株式会社 イゲタサンライズパイプ株式会社 株式会社メタルワンスチールサービス

関係会社

大平鉄工株式会社 〒721-0962 広島県福山市東手城町3-28-16
TEL 084-941-2729 FAX 084-941-9773

技術部（エンジニアリング事業）

技術部は日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区内に拠点を構え、主に呉地区構内の設備保全作業や解体・撤去工事並びに構内運搬等の各種請負作業を行っています。

構内請負作業は、自社保有する大型重機（ホイールローダー・油圧ショベル・10トンダンプ等）を利用した作業やガス溶断作業、大型重機類の自社整備など多岐にわたる作業を、安全に確実に実施しております。

リサイクル事業は構内の解体で発生するがれき類を中心に産業廃棄物の中間処理を実施する他に、低濃度PCB入大型トランスの撤去処理等も行っております。

また、日本製鉄株式会社の呉地区からの撤退に伴い、保有技術・ノウハウ等をベースに呉地区構外へシフトすべく営業活動を展開しております。

解体撤去作業

■12,000m³ガスホルダー 解体撤去工事



主な業務

1. 建設業に基づく解体・撤去工事、機械設置工事、塗装工事他
2. 保全整備作業（起重機のメンテナンス及びワイヤー交換作業、仕上作業（シリンダー整備他）など）
3. 大型重機による運搬・解体作業
4. リサイクル事業
5. 大型重機等の整備

営業している建設業

特定建設業 又は 一般建設業	建設業の種類	許可番号
特定建設業	解体工事業	広島県知事許可（特-04）第24313号
一般建設業	機械器具設置工事業	広島県知事許可（般-04）第24313号

設備保全作業

■ワイヤー交換作業



■LLC 解体撤去工事



■ベルト交換作業



構内請負作業

■鉄スクラップ類の後処理作業



■スラグ鍋解体作業



■土砂類のふりい・運搬作業



保有する重機

ブルドーザー	1台
ホイールローダー（10t～15t級）	5台
油圧ショベル	6台
大型ダンプその他車両	15台



大型重機の自社整備



リサイクル事業

日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区構内の解体等で発生するがれき類を中心に産業廃棄物の中間処理を実施しています。

【収集運搬及び中間処理 許可番号】

呉市	収集運搬	07410006312
	中間処理	07420006312

スラグ部（鉄鋼スラグ製品の販売及びリサイクル事業）

鉄鋼スラグとは鉄を製造する際に発生する副産物ですが、路盤材やセメント、土木用骨材として広く使用されております。松山支店では鉄鋼スラグ製品を愛媛県内や広島県内を主体に販売しております。また「循環型社会形成推進基本法」の基本理念に基づき、廃棄物の減少・再生利用拡大・リサイクル向上に取り組んでおり、リサイクルプラントでは解体工事等で発生した廃コンクリートや廃アスファルトを破碎・粒度調整し、新材に劣らない品質の再生碎石の資材に再生し、販売しております。

主な業務

- 鉄鋼スラグ製品の販売**
日本製鉄㈱で製造されたスラグ製品の代理店
 - 産業廃棄物処理業務**
解体済みのコンクリートやアスファルトをリサイクルプラントにて粒度調整後再製品化
- | 【収集運搬及び中間処理 許可番号】 | | |
|-------------------|---------|------------|
| 愛媛県 | 収 集 運 搬 | 3807006312 |
| | 中 間 処 理 | 3825006312 |
| 松山市 | 収 集 運 搬 | 8911006312 |
- 上記再生品の販売**
鉄鋼スラグ製品の販売に関しては、鉄鋼スラグ協会作成の「鉄鋼スラグ製品の管理に関するガイドライン」に沿って、遵守すべき項目をマニュアルに定め、販売活動・管理を行っております。

鉄鋼スラグ製品とは

●高炉スラグと製鋼スラグ

鉄鋼スラグには、高炉スラグと製鋼スラグ（転炉系スラグ・電気炉系スラグ）があります。

◆高炉スラグとは

鉄鉱石は高炉で鉄と鉄以外の成分に熔融分離されるが、鉄以外の成分は、副原料の石灰石やコークス中の灰分と一緒に高炉スラグとなり分離回収されます。この高炉スラグは天然の岩石に類似した成分を有し、銑鉄1t当り約290kg生成します。高炉から取り出されたばかりのスラグは約1,500℃の熔融状態ですが、冷却の方法によって、以下の2種類のスラグになります。

徐冷スラグ（徐冷処理）

熔融スラグを冷却ヤードに流し込み、自然放冷と適度の散水によって冷却すると、結晶質の岩石状のスラグとなります。これを徐冷スラグと呼び、所定の粒度に加工して、道路用・コンクリート用骨材などに利用されます。



徐冷スラグ

水砕スラグ（急冷処理）

熔融スラグに加圧水を噴射するなどして、急激に冷却すると、ガラス質（非結晶）の粒状スラグとなります。これを水砕スラグと呼び、セメント用・土工用などに利用されるほか、加工することでコンクリート用細骨材としても利用されます。



水砕スラグ

◆製鋼スラグとは

高炉で製造された溶銑やスクラップから、靱性・加工性のある鋼にするのが製鋼工程であり、製鋼炉には転炉、電気炉があります。この製鋼工程で生成するのが製鋼スラグ（転炉系スラグ・電気炉系スラグ）であり、粗鋼1t当り約110kg生成します。製鋼スラグは高炉徐冷スラグとほぼ同じ方法で加工され、各種用途に用いられます。



製鋼スラグ

●再生碎石

再生碎石は、主に公共工事・民間解体工事の施工に伴い発生するがれき類を産業廃棄物処理法に基づき受け入れた原料（コンクリート殻・アスファルト殻）を固定式プラントで破碎・選別し製造しています。一部鉄鋼スラグ製品であるCS-30等を混合して製造する製品もあります。いずれの製品も、土壌汚染対策法に定める環境品質を満たしたものを出荷しております。

再生碎石

（建設工事の路盤材・基礎材・裏込め材などに使用）



RC-30



RC-40

再生粒度調整碎石

（主に路盤材（上層路盤材）として使用）



RM-25

スラグ部 他 各ヤードの紹介

松山支店事務所



松山ニューパラスセンター

- 敷地面積：29,784㎡
- プラント処理能力：80t/H
（640t/日）
- 営業品目：鉄鋼スラグ製品販売
再生碎石製造販売
産業廃棄物中間処理



外港製品ヤード

- 敷地面積：10,000㎡
- 営業品目：鉄鋼スラグ製品販売
再生碎石販売
産業廃棄物引取り
（積み替え保管）



磯浦ヤード

- 敷地面積：14,365㎡



西条ニューパラスセンター

- 敷地面積：10,621㎡
- プラント処理能力：60t/H
（480t/日）
- 営業品目：鉄鋼スラグ製品販売
再生碎石製造販売
産業廃棄物中間処理



大可賀ヤード

- 敷地面積：9,479㎡
- 営業品目：鉄鋼スラグ製品販売
再生碎石販売
フェロニッケルスラグ製品販売

